

様式4

私たちの施設は、都からの補助や介護報酬、利用者からの利用料等によって運営されています。

<特別養護老人ホーム>

施設名	寿園	施設番号	K169
-----	----	------	------

令和4年度における施設データ

総事業費（事業活動支出）	77,950,193円
人件費	140,679,706円
定員数	54人
利用者数（令和5年3月31日時点）	50人
常勤職員数（令和5年3月31日時点）	24人
非常勤職員数（令和5年3月31日時点）	13人

施設の収入（特別養護老人ホーム経営支援補助金の状況等）【令和4年度実績】

介護報酬	164,722,602円
その他利用料	59,890,866円

東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金交付額（都独自の運営費補助）		12,870,000円
基本分	①施設整備等に係る経費の補助（施設振興費）	0円
評価加算	②医療対応強化支援加算	200,000円
	③努力・実績加算	2,758,000円
	④第三者評価の受審・サービス向上に向けた計画策定	第三者評価又は 利用者調査 600,000円
	⑤その他加算（小規模施設加算等）	9,312,000

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱等」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書は、閲覧を希望する方に公開しています。

「福祉サービス第三者評価」等を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	特別養護老人ホーム寿園	施設番号	K-169
-----	-------------	------	-------

項目	評価結果に基づく現状分析 (令和 3 年度)	改善計画 (令和 3 年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和 4 年 4 月 30 日時点)	左記実施状況に実施予定が あつた場合の実施状況 (令和 5 年 4 月 30 日時点)
情報の伝達について	記録など ICT を活用すると、得手不得手な職員があり、電子化された記録に加え紙媒体を組み合させて周知を図っている。ICT に限らず、申し送り事項の確認の認識の薄さがある、ICT を活用することでこの 2 極化が進む可能性がある。 コロナ禍で、フロアごとの会議も書面開催となり、書面上での情報収集が苦手な職員が情報が入りにくいことがあった。もなく情報が行き渡るようにすることが必要。	①紙媒体を使う場合には、簡潔にわかりやすい文書作成。シフトごとの申し送り時にも、確認の実施。 ②時間を区切って、感染対策をしたうえで会議を開催して、対面での情報の伝達を行うようにする。 ③ICT の活用も継続で進め、ICT 内での情報共有を図る準備をする。	1 実施済み 2 実施予定 (年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (令和 4 年 10 月) 具体的には以下のとおりです。 ①③ICT で使用するフォーマットを使い、申し送りで使用するようになった。 ②感染対策を取り、対面での会議開催を増やした。また ZOOM などオンラインの活用も行った。
看取り介護について	看取りの件数を重ね、目の前の本人や家族のケアに力を入れてきた。しかし、そこに携わる職員に対するケアの重要性が増した。今までの個々のケースを振り返り、看取りの時間を穏やかに、安全に取り組めるようにするためにセルフケアができるようになることが必要。	①小規模で、個別性にあわせた研修を年に 2 回実施する。	1 実施済み 2 実施予定 (年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (令和 5 年 3 月) 具体的には以下のとおりです。 令和 4 年度はご逝去者が多く、振り返りを続ける事で、グリーフワークともなった。また看取りの経験が増える事でグリーフワーク時に共有でき、体験できなかつた職員の知識ともなった。
研修について	体系化された研修、確立された OJT、定着した人事ミーティングなど職員の育成を図る、仕組みを活用している。経験年数の長短や習熟度に応じた研修が成長につながるため、職員の個別性に応じた育成を行うことを課題としている。	①小規模で、個別性にあわせた研修を年に 2 回実施する。	1 実施済み 2 実施予定 (年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 研修を 2 回実施。個別性や役職向けの研修をそれぞれ 1 回行う。小規模な開催により、より個別性、段階別な研修を行うことができる。	1 実施済み (令和 5 年 1 月) 具体的には以下のとおりです 小規模の短時間の研修を開催することで、多くの職員が参加。1 回ごとの職員のレベルによって説明内容を変更した。事例検討を取り入れて、実際的な研修を行った。事例発表を役職者とし、事例作成を OJT という形で行った。

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。

様式3

「福祉サービス第三者評価」等を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	特別養護老人ホーム寿園	施設番号	K-169
-----	-------------	------	-------

項目	評価結果に基づく現状分析 (令和4年度)	改善計画 (令和4年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和5年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定が あつた場合の実施状況 (年4月30日時点)
情報の伝達について	引き続き、組織内での情報発信・浸透・意識化に取り組む。	今期は事故報告書に焦点を当て、ICT機器に不慣れな職員にも、分かりやすい使用方法を伝え、推進する。	1 実施済み 2 實施予定 (令和5年12月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 ① ICT 内に事故報告書の仕様づくり。全職員に活用できる、マニュアル作り。	1 実施済み (年月) 具体的には以下のとおりです。
医療的知識について	医療的観点を含む研修内容を検討し実施する。	昨年度、誤嚥性肺炎や褥瘡発症があり、知識を得て再発防止をする。	1 実施済み 2 實施予定 (年月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 ・褥瘡の発症のシステムと予防方法の研修をした。 ・誤嚥性肺炎の予防を歯科医師により研修を実施した。	1 実施済み (年月) 具体的には以下のとおりです。
地域とのかかわりについて	コロナ禍後および大規模改修を終えて、地域とのかかわり方を検討する。	コロナ禍により、途絶えてしまった、地域向けの活動を再開する。	1 実施済み 2 實施予定 (令和6年3月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 家族や地域を巻き込みイベントを開催する。	1 実施済み (年月) 具体的には以下のとおりです。

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。